

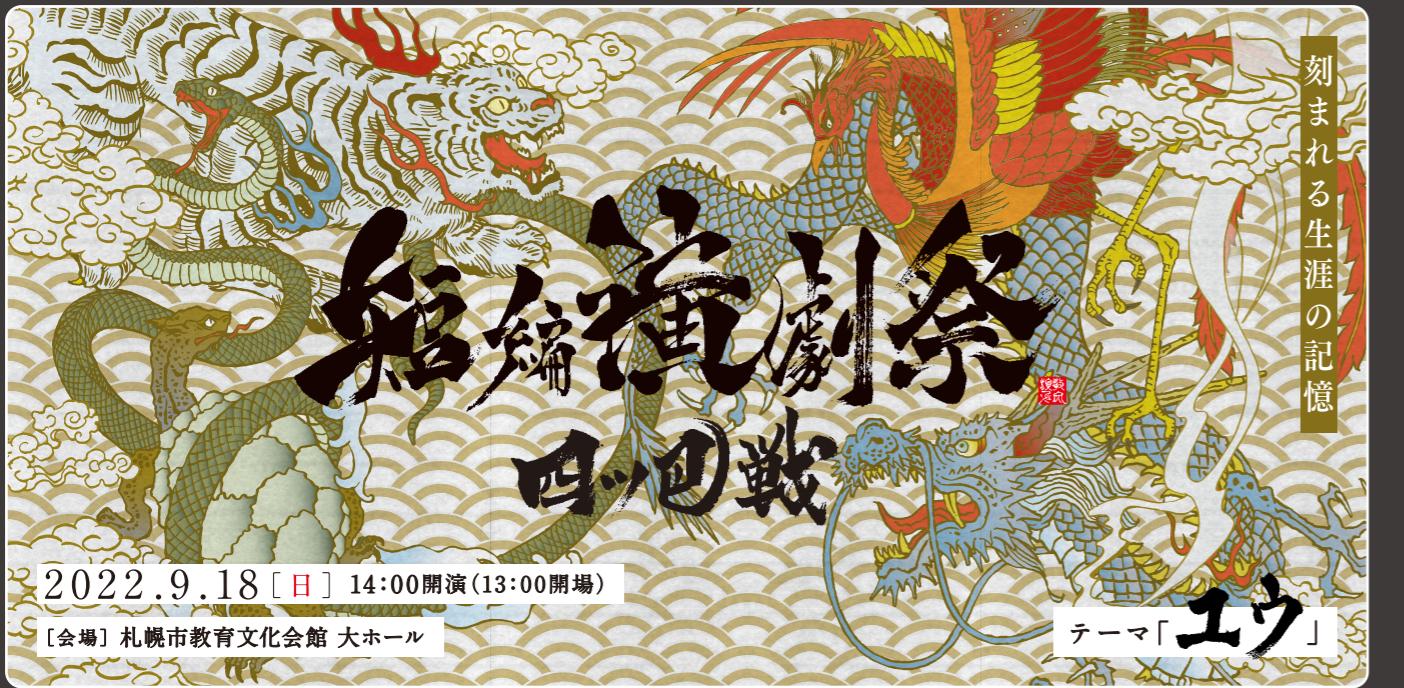
sapporo education and culture hall news

Raku

短編演劇祭 四ツ巴座談会

〔教文演劇フェスティバル2022 連携企画〕





教文演劇フェスティバル 2022 短編演劇祭 -四ツ巴戦-

チケット情報

前売 2,000円 (当日 2,500円)

※教文ホールメイトは500円引き

ペアチケット 3,000円

前売りのみ、教文プレイガイドのみ取扱い

高校生以下 500円

前売りのみ、教文プレイガイドのみ取扱い

※未就学児入場不可。車椅子をご利用の方は前日までに教文プレイガイドまでご連絡ください。

チケット取扱い

●教文プレイガイド：011-271-3355 ●札幌市民交流プラザチケットセンター：(市民交流プラザ2階) ●道新プレイガイド：0570-00-3871 ●ローソンチケット：Lコード 11982

KYOBUN THEATER FESTIVAL OFFICIAL WEB SITE

教文演劇フェスティバル

写真：折田写真

教文演劇フェスティバル 公式WEBサイト公開中。
「短編演劇祭」最新情報はちらからチェック！

スマホはこちらからアクセスできます

<https://www.kyobun.org/enfes-official/>

QRコード



楽59号・演フェス公式WEB・札幌演劇情報サイトd-SAPによる特別連携企画が発動中!!
随時アップされますので詳しくは各サイトをチェック!!
d-SAP URL <https://d-sap.com>

短編演劇祭2022 出演劇団



札幌
Paspoor

幽と現のあいだ

●Paspoor WEBサイト
<https://www.paspoor.com>

@paspoor

Paspoor
劇団CoRich予約は
コチラ



茨城
イチニノ

第3回 全日本もう帰りたい選手権(終)

●イチニノ WEBサイト
<https://ichinino.jimdofree.com>

@Ichinino_

イチニノ
劇団CoRich予約は
コチラ



名古屋
空宇宙空地

グ、リ、コ

●空宇宙空地 WEBサイト
<http://www.coochuhcoochi.com>

@kuhchu_kuhchi

空宇宙空地
劇団CoRich予約は
コチラ



札幌
きまぐれボニーテール

あたしとあなた、とお前と貴様

●きまぐれボニーテール facebook
<https://www.facebook.com/kimagure.pt/>

@kimagure_pt

きまぐれボニーテール
劇団CoRich予約は
コチラ



くのがまず一番楽しんで頂けるところだと思います。主人公が死んでいる状態で働き続けるというのは、世の中的にはありえないと思うのですが、もし自分がそういう風になった場合にどうするか考えながら観て頂くのも楽しいかなと思います。

— 空宇宙空地の『グ、リ、コ』は台本審査員から「時間がかかりそつなシーンを、あえて大ホールに持ち込んでくるその力技を観てみたい」と言われた重要なシーンのほか、随所に今年のテーマ「ユウ」が出てきて、言葉遊びのような感覚もある作品だと思いました。

おぐり 前回の『ショウアワーセルフ』も広い舞台を一人で駆け回ったのですが、あれを狭いところでやつても面白くない。俳優が極限状態になる姿が、やっぱり人間の生命みたいなものを一番感じ取れるところだと思うので、今回も二人だけで大ホールの空間と客席まで、どう空気を埋めるかというのが挑戦です。例のシーンは体力的にも精神的にも大変ですが、そこへあえて挑戦しないと大ホールでお客さんを惹きつけ続けるのは無理だろ? ということで、(作・演出の) 関戸は書いていたと思う。今まで空宇宙空地は笑いやほっこりするシーンが多かったのですが、今回は大きなテーマとして人間の業を描いているので、ちょっと心が痛いシーンもあります。空宇宙空地の肝である共感性の高さは残しつつ、鋭く突っ込んだ話になっている点が見どころです。

— イチニノの『第3回全日本もう帰りたい選手権(終)』はいろいろな工夫が凝らされていて、台詞の勢いがすごい! 压倒される台詞量を引っ張る熱量を感じた」というコメントが出ていました。

前島 2015年に『第1回』、2016年に『第2回』で出場して、本作はその最終回

— きまぐれボニーテールの『あたしとあなた、とお前と貴様』は、「20分の中に人生を詰め込んだような作品。その試みは今回の作品群の中で目立って面白そうだと思った」など、このコメントが出ていました。

寺地 きまぐれボニーテールの長編作品はドラマのように誰が観てもスッとわかるようなものが多いのですが、今回の短編は里美さんが書いたい形を最優先したので抽象的な部分も結構あって、そこが自分たちとして挑戦している部分です。私以外の役者3人はきまぐれボニーテールの作品に出るのが初めてで、その組み合わせの珍しさもあると思います。作品の展開や演出の仕方については台本に書かれていることが多いと多くて、演出家と試行錯誤しているところです。いろいろ面白い演出に挑戦しているので、その辺も楽しみにして頂けたらと思います。

— では最後に意気込みをお願いします。

吉田 「パスプアとは何者?」という雰囲気の中で戦わなければいけないので、団体のコンセプトが「『make it!!』」で、作品をつくりしていく中でもたくさんの発見をしていくたいし、お客様にも観ている中で驚きやワクワクといったたくさんのがあります。先輩方の胸を借りて、真っ直ぐなところでもあります。(笑)、次の長編に行くためにも頑張りますのでよろしくお願いします。

前島 出場団体が発表になった直後、SNSで「空宇宙空地が前回優勝しているので札幌勢頑張れ」とか「空宇宙空地をまた札幌で観れるんだ」という声が上がっているのを見ながら、イヤミーがお邪魔したのは5年前で、覚えていた、とお前と貴様』は、「20分の中に人生を詰め込んだような作品。その試みは今回の作品群の中で目立って面白そうだと思った」など、このコメントが出ていました。

寺地 きまぐれボニーテールの長編作品はドラマのように誰が観てもスッとわかるようなものが多いため、今回の短編は里美さんが書いたい形を最優先したので抽象的な部分も結構あって、そこが自分たちとして挑戦している部分です。私以外の役者3人はきまぐれボニーテールの作品に出るのが初めてで、その組み合わせの珍しさもあると思います。作品の展開や演出の仕方については台本に書かれていることが多いと多くて、演出家と試行錯誤しているところです。いろいろ面白い演出に挑戦しているので、その辺も楽しみにして頂けたらと思います。

おぐり 前回のことは一旦忘れて、初心にかえって空宇宙空地の代表作を塗り替えるつもりで挑んでおります。初老の二人が老体に鞭打って、お客様に開演後0秒から終演までずっと楽しんで頂けるようにつくっています。私はもう札幌をホームだと思ってるので、音楽に楽しんで頂けると嬉しいです。



Japan Culture Tour

教文 和文化巡り

第12回 | さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座

伝統芸能とともに日本の文化の魅力を気軽に体感してもらう「和文化プロジェクト」。
連載12回目は、さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座をご紹介します。



撮影:若松和正

さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座

[お問い合わせ先]
札幌市こどもの劇場やまびこ座
札幌市東区北27条東15丁目
TEL.011-723-5911

古典をこの地で。北海道唯一の人形浄瑠璃芝居一座

「さっぽろ人形浄瑠璃芝居あしり座」は、札幌市こどもの劇場やまびこ座を拠点に活動する北海道唯一の人形浄瑠璃芝居一座。1995年に結成されて以来「八王子車人形西川古柳座」の西川古柳師匠のもと研鑽を重ね、国内外で公演を行う一座として成長。あしり座による北海道神宮例祭の奉納人形浄瑠璃を楽しみにしている人も多いでは。やまびこ座が開催する人形浄瑠璃講習会では西川氏とともに講師を務め、人形浄瑠璃の魅力を伝え続けています。近年は史実を基にしたオリジナルの新作人形浄瑠璃『大黒屋光太夫ロシア漂流記』を発表。ロシアの宮廷衣装を着こなす浄瑠璃人形が登場して話題を呼びました。『光太夫』で人物像や心情表現など全てを自分たちでからつくりあげたことが、古典演目についても思考を深め、人形の動きにどう落とし込んでいくかを考えるきっかけになりました。同じ演目でも遣い手が変わると違う魅力が出るので、あしり座の人が遣うあの役が観たいと思ってもらえるよう、さらに精進していかなければなりません。今年の定期公演では10～20代の座員による若手会も初開催。この地に根差したあしり座の人形浄瑠璃を、ぜひ一度観劇してみてください。

あしり座SNS | [Facebook](https://www.facebook.com/profile.php?id=100063816872236) | [Twitter](https://twitter.com/since1995za)

SAPPORO ENGEKI no WA

磯貝 圭子さんから指名

[プロフィール]

三瓶 竜大

Ryuta Sanpei

劇団清水企画所属／ポケット企画代表。劇作家／演出家／俳優。ポケット企画では「ポケットに入れて持ち運べる」をテーマに札幌を中心に活動。東京や大阪はもちろんのこと、各地の演劇祭へ足を運び札幌の活動へ活かしている。

出演など連絡先 ↓
contact@pocket-kikaku.com



[次回公演情報]

劇団清水企画 新作公演
「秘湯河童ノ淵停車場(仮)」

2022年12月9日(金)～11日(日)[札幌]
2023年1月27日(金)～29日(日)[大阪]

ポケット企画 第8回公演
「おきて(仮)」
2023年2月24日(金)～26日(日)[札幌]

劇団清水企画／ポケット企画 三瓶 竜大

時間をかけて勉強しながら、

いろんな背景のある作品をつくっていきたい。

2018年にポケット企画として活動を始め、TGR札幌劇場祭2019で新人賞、2021年の全国学生演劇祭で最優秀賞と評価を得てきました。三瓶竜大さん。その手法や活動の背景について伺いました。

TGR新人賞受賞作『おもり』は、めまぐるしい実力主義的な社会から取り残される人たちが持つ創造性の可能性に光を当てるラストが印象的でした。

『おもり』は初の劇場公演に対して覚悟を決める過程で「自分の作品にお客様から2500円もらう価値があるのだろうか」と絶望した作品です。創作も停滞したのですが、「これは面白いからやるべき」と俳優から言われて心を動かされるという劇的な瞬間を体験して。こういう瞬間が芸術の豊かさで、それを生み出すために創作は続けるべきだと気付いて、脚本も希望がある終わり方になりました。自分が創作面では弱さがあって、その乖離を掘り下げることが劇のテーマでもあります。

――会話が抽象的なシーンでも、生演奏や身体表現などを舞台上で起こることを眺める楽しさがありました。

川駿佑がメンバーにいるので、僕にはない視点を加えるため即興のやり取りなどジャズと一緒に生演奏を取り入れています。演劇には共通点もあって面白いです。言葉については日常的な会話を描こうとは思つて

――会話が抽象的なシーンでも、生演奏や身体表現などを舞台上で起こることを眺める楽しさがありました。

川駿佑がメンバーにいるので、僕にはない視点を加えるため即興のやり取りなどジャズと一緒に生演奏を取り入れています。演劇には共通点もあって面白いです。言葉については日常的な会話を描こうとは思つて

――今後追求したいことは何ですか？

演劇でやりたいことの一番は、一人でもいいから観た人にとって明日を生きる希望につながるような作品をつくること。それ以上に最近よく考えるのは、つくり手が表現の暴力性について想像力を持つことの重要性です。自分だけじゃなく、作品に関わる人たち全員がいろんな世界に触れて勉強できるような創作現場でありたいです。

※映画の事前評価のように演劇の批評が掲載されることで観劇への動機や見方を広げようと、2021年の「歴るロウ轟き魔女でんでん」で演劇関係者を招いた試演会を開催し、札幌演劇情報サイト「d-SAP」に事前評批を掲載しました。